



**「WINDPLAYER プレзидент・オオカワ メモリアルコンサート」  
～元関西フィルハーモニー管弦楽団代表 大川進一郎氏を偲ぶ～**

**6月6日(日)14:00 開演(13:30 開場)**

**会場:まつむし音楽堂 2FAスタジオ**

\*BGM:モーツァルト作曲クラリネット協奏曲第1番(独奏:大川進一郎)、管楽「フィガロ」ほか

**ビデオ映像『I Love ゆーもあ ～大川進一郎ドキュメンタリー』**

**●イタリア歌曲 独唱**

**Vo:梅谷裕子(声楽家)**

**Pf:田中実子(ピアニスト)**

**●ドイツリート、日本歌曲 独唱**

**Vo:河邊敦子(関西歌劇団理事)**

**Pf:田中実子(ピアニスト、千里金蘭大学講師)**

**●フルート独奏 J.S. バッハ作曲**

**フルートと通奏低音のためのソナタ ロ短調 BMW1030**

**F1:和田高幸(関西日本サイ科学会会長)**

**Pf:小濱加奈子(ピアニスト、まつむし音楽堂MS講師)**



## 6/6 大川進一郎氏メモリアルコンサートに寄せて

まつむし音楽堂 和田高幸

故大川進一郎(1933.4.19-2020.11.1)氏とのつながりは1960年代、「ダイエー」以前、スーパーオオカワの創業に遡る。当時わたしは大学生、タオル卸売業を営んだわたしの実家(株式会社和田商店)が納品先の一つになっていたので、助手席に乗り納品に同行した記憶がある。その後、演歌「おもいで酒」を作曲したフルート奏者梅谷忠洋さんや奥様の裕子さんと仕事上のつながりもあって進一郎氏とご縁ができ、いつだったか拙宅に来ていただいたこともある。そのときかけていたレコード(モーツァルト作曲のオペラ「フィガロの結婚」の管楽版)がお気に入りだったようだ。(当時、わたしはUFO研究者として梅谷氏とラジオやテレビ番組に出演していたことがあった。生駒山でのUFO観測会では、間近に出現した物体に向け、妊娠中の奥様がいち早く疾駆したことが思い出される)

クラリネット奏者として、また関西フィルハーモニー管弦楽団を育て、さらには高校野球で全国放送される優勝校の校歌を作曲するなど、生涯を通じて音楽家として生きてこられた。しかしJR「学研都市線」(旧片町線)の名付け親、ボーリング場経営の失敗を克服した逸話などもあり、実業家としての印象をもつ人も少なくないだろう。大川進一郎氏は、多彩な人生を謳歌した才人であった。産経新聞社に在籍、定年後はささやかな音楽スタジオを自営しているわたしにとっては、スケールの大きな先達に違いなかった。

思い返せば、1988年頃のことであるが、マレーシアの書店で西洋ニューメロロジー(数字占い)に触れ、これをネタにした「言霊予知術」(浪速社刊)の出版記念会(1992、於タカムラ)に高名なピアニスト、プロティッチ氏(当時同志社女子大学教授)を伴ってご来場いただき、素敵なクラリネット演奏を聞かせてくださった。

住道小学校での「第九」公演の際には、合唱団の一人としてわたしも参加させていただいたのだが…。にわかづくり、しかもアマチュアのオケと合唱団、さらにソリストという組み合わせ、これを、直前のリハーサルでまとめあげたG・バプアゼ氏(関西フィルのコンサートマスター)は流石(さすが)であった。

近年では、あつかましくも当方のヴァイオリン講師を紹介してほしいと頼み、イタリア留学から帰国したばかりのY氏がやってきた。優秀なヴァイオリニストで、もちろん大きな戦力となって活躍している。

さてメモリアルコンサートのきっかけとなったのは、自宅の書棚から落ちてきた一枚のCD(モーツァルトのクラリネット協奏曲イ長調K.622、独奏は大川進一郎氏)であった。

「まつむし音楽堂」(大阪市阿倍野区)のコンサートでは、関西フィルハーモニー管弦楽団ゆかりのオペラ歌手(関西歌劇団)の河邊敦子氏、ピアノの田中実子氏、また大川氏が後援会会長をつとめた梅谷裕子さんらが出演してくれることになった。6月6日(日)午後2時の開演、どうぞお聴きください。